

## 指定管理者モニタリングレポート（令和元年度）

作成日 令和2年5月29日

施設名	みのかも健康の森	
所在地	美濃加茂市山之上町7559番地	
指定管理者	名称 可茂森林組合 代表者 代表理事組合長 可児 登 住所 加茂郡七宗町神淵9756番地1	
指定期間・選定方法	H28. 4. 1～ R3. 3. 31	<del>公募</del> ・任意指定
モニタリングの実施方法等	○ 運営経費の支出状況や収入状況、金銭管理等の確認 ○ 管理運営の手法や運営理念の確認 ○ 現地事務所にて帳簿確認や聴き取りにより実施	
担当課 (問合せ先)	産業振興部 農林課	

### モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- 前年度(平成30年度)の公園入場者数が 54,672 人であったのに対し、令和元年度は 70,450 人と大幅な改善が見られた。
- 木工の技術を持つ職員を可茂森林組合が今年度から採用し、イベントを実施するなど売り上げ増に取り組む姿勢が見られた。
- ツリートップアドベンチャーの運用を開始し、各種媒体にて PR にも努めた。

### 経営分析に関すること

- バーベキュー利用数が、来園者数が増加しているのにも関わらず減少していた。令和元年度途中から、バーベキュー食材の準備(外注取り寄せ)も可能としたため、手ぶらで来て楽しめる点を PR していく必要がある。
- 食堂やBBQの売り上げだけでなく、新たな物販(木工製品、木材)を展開した。
- 暑さ対策として、管理棟天窓も遮光フィルム貼り付けと窓を開閉型に改修。天井に大型ファンを設置した。
- ツリートップアドベンチャー、ハンモックなどのアイテムを活用し若い世代の集客も図っている。

### 事業計画・実施事業に関すること

- 行事終了後には、関係者と事業実施において気が付いた点、改善した方がいい点などを洗い出し、翌年度の開催に向けよりよい事業を実施できるよう心掛けている。
- BBQ 施設で使用する炭、薪ストーブには、園内や市内で伐採された不用木や間伐材を使用するなど、経費の削減に努めるとともに環境にも配慮している。

### 経理に関すること

- 支払いは月末締めで 15 日支払いとなっており、農協と十六銀行に口座を設けることにより、支払手数料に応じて(支払先の取引銀行)支払い口座を使い分けている。
- 収入については、毎日農協が来園し入金、必要に応じて十六銀行へ振替えている。
- 簿記に精通したものが経理を担当しており、帳簿等が適正に管理されている。
- 支出は、請求書とともに支出命令票を作成し、園長及び森林組合が確認している。
- 金庫・レジの現金・鍵の管理は、適正に行われている。

### 施設管理に関すること

- 施設内の日々の見回りにより常時遊具等の状況を把握し、必要に応じてその都度整備・修繕を行っている。また、緊急の場合には即時に市担当者に連絡している。
- 施設の鍵を複数の者が所持することにより、緊急時に対応できるよう配慮している。
- 閉園時の駐車場利用者への対応は、園内放送・検索を行い、所有者が現れない場合は、連絡先を明記した貼り紙をする。
- 消防訓練・避難訓練・救命講習を実施し、利用者の安全確保を目指している。

### サービスに関すること

- 食堂では地元の旬な食材を使って、食堂利用者に無償で提供している。
- 来園者に事故があった場合などは、状況を的確に判断し誠実に対応している。対応後には市へ事故報告を書面で報告し、注意喚起の掲示を設置するなど、善後策がとられている。
- 苦情等の処理について、園内で処理できない場合、組合・市に相談し対応している。
- アンケート用紙を常置し、提出された内容の集計を定期的に行い、その内容を職員に周知することによりサービスの向上に努めている。

### その他に関すること

- 情報発信は、HP への掲載、農林課から広報・記者クラブへの情報提供、管理棟内の掲示板に加え、フェイスブック、インスタグラムを活用し幅広い広報活動を行っている。
- 環境に配慮した取り組みとして、ゴミの持ち帰りのお願い、施設補修や炭、薪作りに間伐材の利用などを行っている。
- 園隣接の山林が企業林となったことに伴い、企業(豊田合成株)の従業員が来市した際に、団体向けのイベントを準備するなど、新規顧客団体獲得に向けた積極的な動きがみられた。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和元年度)

総合評価	A
------	---

実施日 令和2年5月29日

担当課 農林課

対象施設	みのかも健康の森	選定方法	任意指定
設置目的	自然を身近に感じることができる森林公園として設置		
指定管理者名	可茂森林組合	指定期間	H28.4.1～R3.3.31

総括	B	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	評価
経営分析	事業収支	537 千円	1,116 千円	-442 千円	-2,027 千円	-22 千円	B
	利用料金比率	20.74	20.25	19.76	18.39	17.8	B
	人件費比率	62.8	64.5	64.4	65.2	64.8	B
	外部委託費比率	0.52	0.53	0.47	0.48	0.52	B
	利用者当たりの管理コスト	450.1	403.4	446.7	526.6	401.3	B
	利用者当たりの市負担コスト	198.1	186.2	201.4	239.9	186.1	B
	施設㎡当たりの利用者数	0.05	0.05	0.06	0.05	0.07	B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか	B			事業計画、設置目的に沿った事業である。
2 収支計画との整合性はあったか	C			適切であったが赤字となっている。
3 開館時間、休館日は適正に守られていたか	A			適正に実行されている。
4 施設職員体制が適正に整えられていたか	A			シフト管理され適正である。
5 公共性・公平性が保たれていたか	A			特例がなく公共性・公平性が保たれている。
6 改善指示事項や要望が事業に反映されていたか	A			利用者のアンケートにより対応を行っている。
7 自主事業は適正に実施されていたか	C			雨天時の集客が見込める事業実施の必要性

経理に関すること	総括	A	一次評価	評価理由等
1 管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか	A			固有の口座があり適正に管理されている。
2 協定に基づいた支出が適正に行われたか	A			適正に行われている。
3 支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか	A			帳簿が適正に管理されている。
4 帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか	A			体制が整えられている。
5 現金は適正に管理されていたか	B			毎日銀行の訪問がある。

施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			A	職員による目視、専門業者による検査が行われている。
2	清掃は確実に行われたか			B	毎日実施されている。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	事務所で適正に管理されている。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	緊急連絡網が整備されている。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	避難経路には備品等の放置がされていない。避難訓練も実施されている。
6	備品は適切に管理されていたか			B	適正に管理されている。
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			A	毎日の見回りによる管理が行われている。

サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			A	季節ごとに利用時間を変更している。樹上遊具の運営を新年度から実施した。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	即日対応できるようにしている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			A	経過も記入され管理されている。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			A	HP、FB、インスタを活用し、随時PRを行っている。
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			B	アンケート調査を実施している。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	利用者のアンケートによりベンチの改修、新設を実施するなど対応している。
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	接客対応について問題はない。

その他に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	市広報及び組合員だより等適正に発信している。FBやインスタを開設して随時発信している。
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	適正に管理され目的外には利用されていない。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	管理棟の暖房は整備で発生した伐木を利用している。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			A	加入している。
5	地域との協働は図られたか			A	地域住民と周辺の整備事業を実施している。
6	市と連絡を密にしていたか			A	市との連絡体制は取れている。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

### 1. 指定管理者・施設の基本情報

令和2年5月29日

指定管理者名	可茂森林組合	担当課	農林課
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	選定方法	公募・任意指定
施設名	みのかも健康の森	施設の種類	森林公園
所在地	美濃加茂市山之上町7559番地		
設置根拠条例等	美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	・保健、保全機能の発揮される森林の整備 ・市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上		
実施事業	みのかも健康の森の運営、管理		

### 2. 施設の概要

土地	敷地面積	1,069,268    m <sup>2</sup>		駐車場 台数	300 台			
	内借地面積	1,013,947 m <sup>2</sup>	契約期 間	30 年		借地料	950,000 円	
建物	設置形態	市所有 賃貸借	契約期 間			賃借料		
	建物の内容	管理棟、バーベキュー広場、777階段、ファミリーゴルフ場、アスレチック 等						
	主要な建物の 建築年月	平成6年3月			取得時 期			
	延床面積	1,061.56    m <sup>2</sup>		構造	S造		階数	1階
	耐震基準	新耐震基準	耐震診 断	不要	耐震補 強	不要	Is値	
	バリアフリー 化状況	実施 ＝部実施 未実施	エレベ ーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい 者用トイレ	その他
			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	大規模修繕 実施状況							
留意事項								

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	306 日	休館日	毎週水曜日	開館時間	9:00～17:00 (9:00～16:00)
職員数等 管理体制	可茂森林組合：嘱託職員4人、作業員6人、臨時職員5人 計15人 美濃加茂市：担当職員(兼務)1人				

#### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	令和元年度	30 年度	29 年度	28 年度	指定管理導入前
市の収支状況	支出	支出総額	59,707	68,562	67,486	54,944	—
		人件費	0	0	0	0	—
		維持補修費	42,217	51,786	28,342	39,466	—
		減価償却費	0	0	0	0	—
		光熱水費	0	0	0	0	—
		委託費・指定管理料	14,486	15,384	38,027	14,056	—
		賃借料	950	950	950	950	—
		その他	2,054	442	167	472	—
	収入	収入合計	0	0	0	0	—
		使用料・手数料					—
		その他業務収益					—
		業務関連収益					—

		(単位:千円)	令和元年度	30 年度	29 年度	28 年度	27 年度
指定管理者の収支状況	支出	支出合計	28,271	28,792	29,077	28,417	29,328
		人件費	18,311	18,772	18,725	18,330	18,429
		事業費	7,251	6,946	7,560	7,301	7,901
		維持補修費	385	526	314	235	127
		光熱水費	2,176	2,410	2,340	2,399	2,719
		保守点検費	148	138	138	152	152
		その他	0	0	0	0	0
	収入	収入合計	28,249	26,764	28,634	29,533	29,865
		指定管理料	13,114	13,114	13,114	13,114	12,909
		利用料金	5,039	4,921	5,659	5,981	6,195
		自主事業収入	10,084	8,721	9,853	10,415	10,737
		その他	12	8	8	23	24

#### 5. 施設の利用状況

		令和元年度		30 年度		29 年度		28 年度		指定管理導入前	
開館日数		306		306		307		306		—	
森の家利用日数		123		112		126		203		—	
教育機関等利用者数		3,015		4,496		5,608		7,136		—	
入園者数		70,450		54,672		65,083		70,439		—	
部 屋 別 稼 働 率	名称	森の家				平日	%		土日祝	%	
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	40.2%
	名称					平日	%		土日祝	%	
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	%
	名称					平日	%		土日祝	%	
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	%

## 6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	山の日イベント	利用者数等	490 人
	事業内容	木工教室、ツリートップアドベンチャー体験、餅つき 等		
	事業名	あじさいまつり	利用者数等	1,300 人
	事業内容	あじさい苗配布、写真撮影会(第 20 回記念として特別行事も実施) 等		
	事業名	夏休み親子木工教室	利用者数等	30 人
	事業内容	親子木工教室		
	事業名	鯉のぼり掲揚	利用者数等	—
	事業内容	園内全体に鯉のぼりを設置(4月～5月中旬)		
	事業名	花飾り教室	利用者数等	65 人
	事業内容	申込者に花飾りの教室を開催(6 月、10 月、12 月)		
	事業名	みのかもりマーケット	利用者数等	1,995 人
	事業内容	園内に出展ブースを設けマーケットを開催。(12月、2月)		
特記事項		ツリートップアドベンチャーの運用開始 フリーWi-Fi の設置 777 階段の改修、管理棟天井ファン設置		

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	園内整備後の伐木を、薪として販売しているが、可茂森林組合のエリアの薪購入の住民に対して薪の無料配達を行っている。
コスト面	園内整備後の伐木を活用した薪を販売、管理棟内の薪ストーブに活用、園内 BBQ 施設で使用する炭についても園内の炭焼き小屋において制作し、処分経費の削減を行っている。
利用者数・稼働率	平成 30 年度の利用者減から、令和元年度は約 1.3 倍増と利用者の回復傾向がみられた。しかし、バーベキュー場の稼働が前年度より減少したため、近隣類似施設との棲み分けを明確化し、打ち出していく必要がある。
事業実施状況	季節ごとに自主事業を計画し集客に努めている。 樹上遊具(ツリートップアドベンチャー)の稼働を開始した。
地域との協働等	ウォークみのかもの会場活用、子育て世代団体の利用促進、市内の森林整備を行っている団体と共同で園内整備を行っている。また、引きこもり等支援として、薪づくり・園内整備の場を提供し、社会参加の促進に努めた。
その他	年度末にバーベキュー場内に新たにかまどを開設、ワークショップ等での活用を予定している。みのかもりマーケット、GTBC など各種団体との連携によりイベントを開催した。